

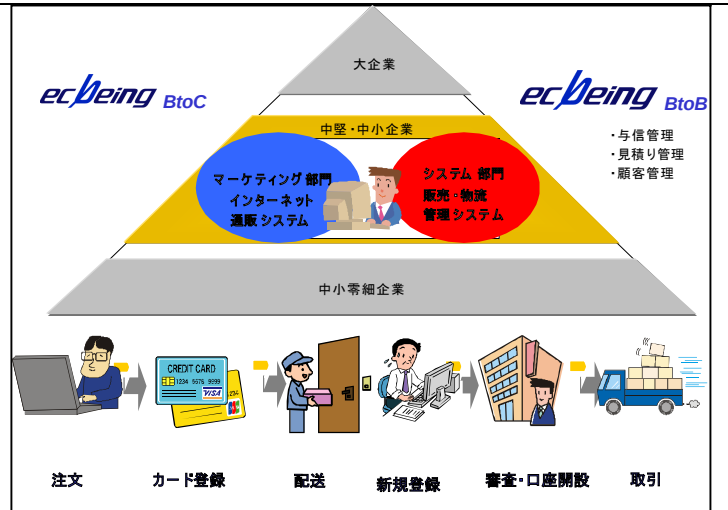
皆様、ソフトクリエイトのマンスリー・ニュースをご愛読いただき、ありがとうございます。今回も「Speed & Change」をモットーに変化を続ける当社の1か月分の活動をまとめてご報告します。

1. トピックス

(1) BtoB市場向け ecbeing を投入 !

当社は、さらに急速な成長が期待される企業間取引(BtoB)のEC化に対応するため、ECサイト構築パッケージ「ecbeing」の「BtoB版」を商品化し、平成18年1月より販売することに決定しました。「ecbeing BtoB版」は、従来の「ecbeing」がもつ基本機能に、企業間取引に欠かせない与信管理、見積管理、顧客管理などの機能を加え、パッケージ化したものです。これまで膨大な時間や費用をかけ独自開発されてきた BtoB システムの常識が変わり、期間・コストの両面での大幅な改善を実現することで、中堅・中小企業にとり、大きなメリットをもたらすことになります。

販売ターゲットも BtoC EC 市場に比べて大幅に拡大しますので、当社の既存顧客やシステムインテグレータなどの販売代理店への積極的なアプローチにより、導入がさらに拡大するものと考えております。



(2) リッチクライアントのウェブフォーム開発環境「X-WebForm(エクスウェブフォーム)」を開発!

当社は、Web ブラウザ上で紙の書類と同じような感覚で、直感的にデータ入力できるリッチクライアントのウェブフォーム開発環境「X-WebForm(エクスウェブフォーム)」を開発し、平成17年12月より販売を開始致します。これまでの Web 環境下では、HTML 特有の制限により、表現力や操作性に乏しい入力インターフェースになると言う弱点があり、帳票や伝票などの書類をビジネス上で頻繁に活用している顧客にとっては非常に使いづらいものになっていました。X-WebForm を用いることにより、使い慣れた書類や表計算ソフトのような使いやすいユーザインターフェースに一新されます。その上、端末に専用プログラムをインストールすることなく使用することができます。

(3) 「ecbeing」有力サイトに続々採用!

アスキー365 への採用

当社の「ecbeing」がアスキー社の EC サイト「アスキー365」構築ツールとして採用され、サイトは本年10月に華々しくオープンされました。「なぜ ecbeing が採用され、どのような経緯でサイトオープンに至ったのか?」アスキー社のホームページ上で、全3回に分けて、新 EC サイト構築の背景と、ecbeing の強力なポテンシャルについてレポートされています。その中で、ecbeing の「管理画面の操作性」「カスタマイズの自由度」など高い評価を得ています。

全3回の短期集中連載ですので、是非、ご一読ください。

<http://ascii-business.com/column/365/>

(4) 株式分割の効力発生

当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的として、9月30日最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主の所有株式数に対し、11月18日をもって1:3の株式分割の効力が発生致しました。

2. IR活動スケジュール

11月以降に実施したIR活動

11月9日(水) PM4:00~ 平成18年3月期中間決算アナリスト向け説明会(弊社 渋谷本社ビル 4F)

11月19日(土) 東京IPO主催 個人投資家様向け説明会(東京) <http://www.tokyoipo.com/top/ja/index.php>
ご参加頂いた皆様、有難うございました!

3.経営陣から 今月は専務取締役の林 宗治からのコメントをご紹介します。

前職では、ネットワークエンジニアとして数多くのネットワーク・セキュリティ製品とかかわってきました。従来提案してきた製品は海外の製品を日本に持ってきたものでした。11月号でお知らせしたとおり、当社として初のネットワーク系プロダクト「L2Blocker」を発表いたしました。自社製品としてネットワーク製品を世の中に出せる喜びを噛み締めるとともに、多くの反響をいただき皆様からの期待を感じております。

多くの企業で、社内のネットワーク環境・メール環境は必須のインフラとして定着しました。しかし、利用にあたってはいまだ、セキュリティの不安と戦っている状況です。セキュリティの不安を取り除き、よりネットワーク環境を使いやすくする製品を今後も世の中に送り出していきます。ご期待ください。



4. I R担当より

いつもマンスリー・ニュースをご愛読いただきまして、ありがとうございます。
上場してから早いもので8ヶ月となりました。業績も順調に推移し、I R活動においても積極的な活動を行ってまいりました。2005年のマンスリー・ニュースは今回で最後となりますが、今後も引き続き当社をよくご理解いただくためのニュースの配信に努めてまいります。

最後になりましたが、来年も「マンスリー・ニュース」を通じて皆様のお役に立てるよう頑張りますので、ご愛読のほど、よろしくお願い申し上げます。

ソフトクリエイト ホームページ <http://www.softcreate.co.jp>